

風薫る季節となり、早いもので今年も半分が終わろうとしておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

みなさんは“生活支援コーディネーター”をご存じですか？聞き慣れている方も、そうでない方もいらっしゃるかもしれません。本号では、平成30年度より始まりました生活支援体制整備事業と生活支援コーディネーターについてご紹介いたします。これをきっかけに“生活支援コーディネーター”をより身近に感じていただきたいと思います。

生活支援体制整備事業って？

旭川市では平成30年度から生活支援体制整備事業が始まりました。

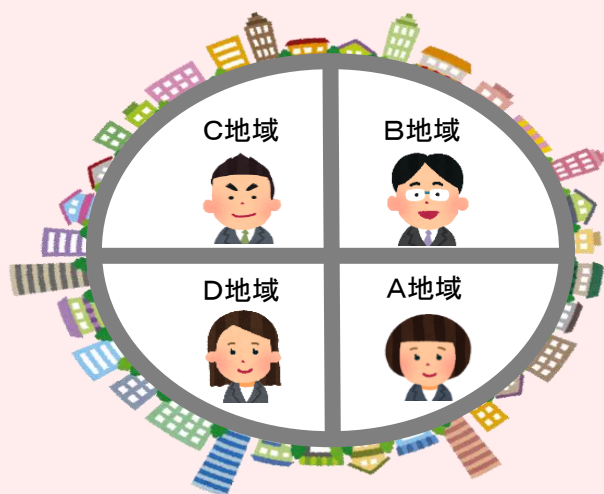
高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、生活支援コーディネーターを配置し、高齢者支援に取り組んでいる住民組織、ボランティア、関係団体が連携を図り、身近な地域で高齢者を支える仕組みづくりを行う旭川市の事業です。

生活支援コーディネーターって？

生活支援体制整備事業の開始と同時に市社協が旭川市から委託を受け、第2層生活支援コーディネーターを4名配置しています。

生活支援コーディネーターは、高齢者が安心して住みやすいまちとなることを目指し、関係団体と連携を図りながら、各地域の特性に合わせて活動に取り組んでいます。

旭川市では、4つの地域にそれぞれ1人ずつ
第2層生活支援コーディネーターを配置しています



主な活動内容

- 地域資源・社会資源の情報発信
- 地域懇談会（協議体）の企画・開催
- ボランティアの養成・活動支援

などの活動に取り組んでいますので、
次ページで詳しく紹介いたします♪

＼ 私たちが担当しています ／

A地域 豊岡、東旭川・千代田、東光
B地域 中央、新旭川・永山南、永山
C地域 末広・東鷹栖、春光・春光台、北星・旭星
D地域 神居・江丹別、神楽・西神楽

堀川 沙織（ほりかわ さおり）
藤井 大介（ふじい だいすけ）
長岐 信孝（ながき のぶたか）
木戸場 ちひろ（きどば ちひろ）



生活支援コーディネーターの

地域資源・社会資源の情報発信

インフォーマル(公的な制度ではないもの)な社会資源や活動、生活支援サービス等の情報を調査し、広く住民や専門職の皆様にご覧いただくための情報発信に取り組んでいます。



【くらしの困りごとガイドブック】

旭川市内の高齢者の暮らしを支える、介護保険制度外の生活支援サービスの情報について、まとめています。

【末広・東鷹栖ささえあいハンドブック】

末広・東鷹栖圏域で行われている、シニア世代を対象とした身近な地域交流や健康づくりの活動について、掲載しています。

このほかにも、各地域包括支援センター等との連携により、高齢者の生活に役立つマップ・ガイドブック等を、現在7地区で発行しています！

地域懇談会(協議体)の企画・開催



地域包括支援センターや福祉事業所等と連携しながら、地域住民の皆様とともに、地域の支え合いの仕組みづくりを考えています。



東光ボランティア交流会(R元年度)

【東光ボランティア交流会】

圏域内のボランティアが集まり、お互いの活動内容や活動における悩み・楽しさ等を共有する場として地域包括支援センターやボランティアセンターと連携し開催しています。

【まちコン～住民と専門職の出会いの場～】

神居・江丹別圏域内のボランティアと福祉施設が連携した活動を始めのきっかけとして、楽しく交流を図りながらお互いのことを「知る」「学ぶ」「考える」ための場として開催し、その後のボランティア活動につなげています。



まちコン～住民と専門職の出会いの場～(R2年度)

このほかにも各地域で、地域の特性を活かした取組などについて検討する懇談会(協議体)を開催しています。高齢者が安心して暮らしやすい地域を目指して、今後も地域住民の皆様とともに支え合いの仕組みづくりを考えていきたいと思えます！

活動・取組をご紹介します ✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿

ボランティアの養成・活動支援

ボランティアセンターや関係機関と連携し、高齢者支援の担い手となるボランティアの養成や活動支援を行っています。また、高齢者の方がこれまでの経験を地域で活かせるような環境づくりにも取り組んでいます。



平成30年度以降、担い手の養成講座や交流会などを、関係機関と連携し開催してきました。平成30年度は計3講座、令和元年度は計9講座、令和2年度はコロナ対策を講じて、計10講座開催いたしました。

令和2年度末時点で、旭川市生活支援体制整備事業のボランティア登録者は251名となっています。登録者は高齢者支援の担い手として、様々なボランティア活動が行われています。

～こんなボランティア活動が行われています～



依頼者がケガをして一時的にできなくなった飼い犬の散歩支援をしていただきました。



視力が低下した高齢者の方の買い物同行ボランティアをしていただきました。



「周りに囲碁ができる人がいないため、誰か来てくれたら」との相談を受け、囲碁の相手のボランティアをしていただきました。

これまでに、自宅前の除雪や室内の整理、ゴミ出し、散歩の付き添いなど様々なボランティア活動が行われています。現在はコロナ禍のために自粛している活動も多くありますが、コロナ禍でもできることを、生活支援コーディネーターも日々考えているところです。今後、地域住民の皆様とも、今必要とされていることを共有していけたらと思っています。



ボランティアによる支援が必要な時などがありましたら、お気軽に生活支援コーディネーターまで(TEL:0166-23-0742)ご相談ください。

「コロナ禍における高齢者ニーズ」のヒアリング実施

コロナ禍により高齢者の生活及び高齢者等を支える地域活動がどのような影響を受けているのかについて実態を把握するため、ヒアリングを行いました。



【実施期間】

令和3年5月28日(金)～6月10日(木)

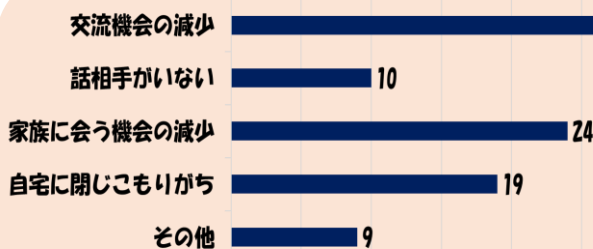
【把握方法】

電話(一部、訪問による聞き取りを実施)

【対象】

専門職(地域包括支援センター、介護保険サービス事業所、障がい領域の専門職)

活動団体(地区社会福祉協議会、地区市民委員会、地区民生委員児童委員協議会、老人クラブ、ボランティア団体等) 計49機関



ヒアリング結果の一部です。交流の機会が減少したという声がとても多くありました。

今回のヒアリングの結果を受けて、今どのような支援が必要とされているか、何ができるか、生活支援コーディネーター間で協議を重ね、今後の活動につなげていきたいと思っております！



令和3年度ボランティア研修「コロナ禍で光るささえ合い」開催のお知らせ

第2層生活支援コーディネーター及び旭川市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、シニアがボランティアの担い手として活躍するきっかけづくりを目的とした標記研修を平成30年度から開催しており、今年度も次のとおり開催する予定です。

【日時】

令和3年9月18日(土)午後2時30分～4時

【会場】

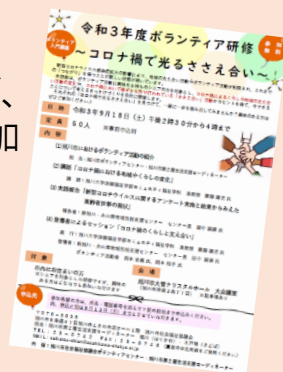
旭川市大雪クリスタルホール 大会議室
(神楽3条7丁目)

【定員・対象】

20名・市内にお住まいの方
(シニアを対象とした研修ですが、興味のある方はどなたでもご参加いただけます)

【申込】

9月13日(月)までに下記の担当あてにお申込みください



【講師】

・旭川大学保健福祉学部コミュニティ福祉学科
准教授 齋藤 建児 氏

【実践報告者】

・新旭川・永山南地域包括支援センター
センター長 田中 誠康 氏
・ボランティア活動者

コロナ禍によって暮らしやボランティア活動がどのように変化したかなどについてお話いただく予定です。一人一人が「**コロナ禍でできること**」を見つけるヒントが得られる研修となりますので、興味のある方はぜひご参加ください♪

※新型コロナウイルス感染症の市中感染状況により急遽中止や延期となる場合がございます。

【研修参加申込先】

旭川市第2層生活支援コーディネーター 堀川(ほりかわ)・木戸場(きどば)

TEL: 23-0742 FAX: 23-0746

MAIL: seikatsu-shien@asahikawa-shakyo.or.jp

旭川市社会福祉協議会(ボランティア振興基金・愛情銀行等)へ
いただいたご寄附一覧

ヤマサ暖房機器 株式会社 様

誠にありがとうございます
ございます

その他多数のご寄附をお寄せいただいております。個人の方(匿名を含む。)につきましては、旭川市ボランティアセンターホームページに、随時掲載しております。

